

## 蚕の成長過程

蚕の成長過程は通常、およそ1年続く。しかしその多くの期間、卵は休眠している。春にふ化したとき、幼虫の長さはおよそ1ミリに過ぎない。しかしわずか数週間以内に、幼虫は、十分な発育を遂げた蚕へと変身し、100%絹の繭を作る。繭で数日間過ごした後、蚕は最終的に蛾となり、交尾し、卵を産み、死亡する。

幼虫は4回の脱皮を経験する。繭を作り始める頃には、蚕は当初の25倍の大きさになり、10,000倍の重さに成長している。平均的な蚕は、長さ1,300~1,500mの一続きの絹を生み出す。そしてこの絹を使い、48時間かけて繭を作る。ふ化したとき蚕はごく小さな蠕虫状であるが、たった1カ月余り後に、雌の蛾は繭から出て、交尾し、卵を産み、死亡する。そして、一年のサイクルが再び繰り返される。